

シンポジウム

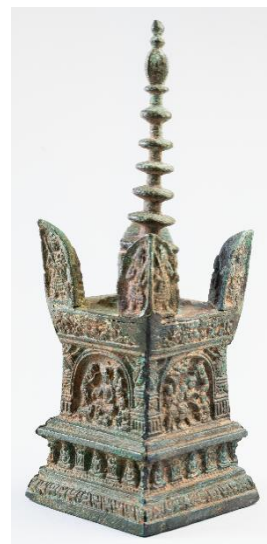
^{せんこうしゆく}

「錢弘俶八万四千塔」の背景を求めて

ー 中国江南と西北地域における劉薩訶 ^{りゅうさっか}と阿育王塔ー

日本で「錢弘俶八万四千塔」と呼ばれる小型の銅製塔は、呉越国王の錢弘俶が発願、製作させて、その領土内に頒布し、また交流のあった地域にもたらされたものであり、呉越国と日本との直接的な交渉がうかがえるものとして美術史や考古学の面からも早くから知られてきました。中国で「錢弘俶八万四千塔」は「阿育王塔」と呼ばれ、江南の舍利信仰・阿育王塔への崇拜は鄞県(浙江省寧波市)にて劉薩訶 ^{えだつ}(慧達)が感得した舍利塔への信仰を基盤としています。劉薩訶は江南と西北地域ではその役割および表現が異なり、日本には主に江南における劉薩訶の事績が伝えられてきました。シンポジウムでは「錢弘俶八万四千塔」の背景として、近年の研究成果や新しい調査を踏まえて、中国の江南と西北における地域的な信仰のあり方とその表現について考えます。

1. 日時 令和8年11月1日(日) 13:00 ~ 16:30
2. 場所 大和文華館 講堂
3. 発表者 稲本泰生氏(京都大学人文科学研究所教授)
田林 啓氏(大阪市立美術館学芸員)
丁 得天氏(中国・敦煌研究院編集部副研究員)
瀧 朝子(大和文華館学芸部課長)
4. 主催 公益財団法人大和文華館 美術史学会西支部



錢弘俶八万四千塔
中国・五代十国時代 10 世紀 個人蔵

【参加方法】

- 参加費は無料ですが、当日の入館料は必要です。
- 定員は120名、**往復ハガキ**での事前申込制となります。
- 参加ご希望の方は下記記入事項と返信用宛先をご記入の上、「大和文華館 シンポジウム係」までお送りください。

<記入事項> 1. お名前(2名様までお申し込みいただけます。)
2. ご住所
3. 電話番号
※返信用宛先も必ずご記入ください。

<宛先> 〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 大和文華館 シンポジウム係

<締切> **10月16日(金) 必着**

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

当選者には20日(火)に返信用ハガキにて参加証を発送いたします。